



twitter.com/ourfinland



[I wish I was in Finland](https://www.facebook.com/visitfinland)

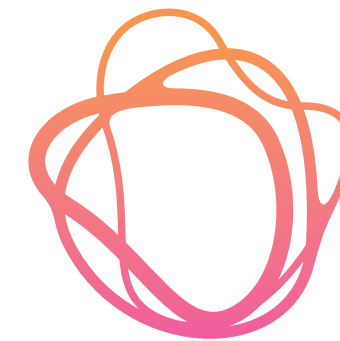


[youtube.com/visitfinland](https://www.youtube.com/visitfinland)



[flickr.com/visitfinland](https://www.flickr.com/visitfinland)

[VisitFinland.com](https://www.visitfinland.com)



ザ・ インサイダーズ・ ガイド

ストーリーは続く…

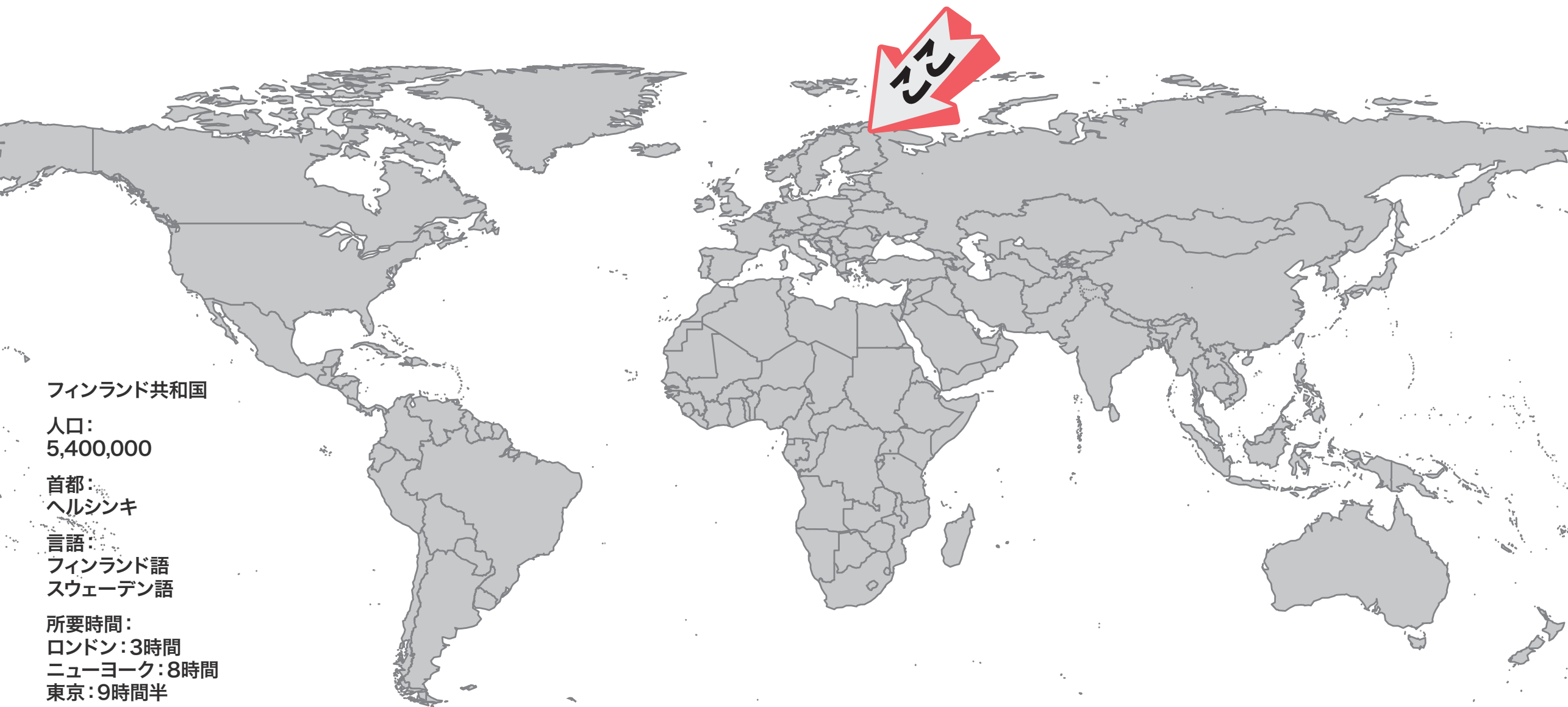
[VisitFinland.com](https://www.visitfinland.com)





この本でご紹介する人々、場所、写真、そしてストーリーはひたすらリアル。私たち編集部が独自に友達、家族、FacebookやFlickrのユーザー、そしてヘルシンキを訪れた人たちから、フィンランドにまつわる思い出や

写真を集めました。この本の中に散りばめられた写真やストーリーを眺めていると、フィンランドの姿が浮き彫りになってくるでしょう。リアルなフィンランドを感じて、自分だけの旅を描いてみてください。



フィンランド共和国

人口：
5,400,000

首都：
ヘルシンキ

言語：
フィンランド語
スウェーデン語

所要時間：
ロンドン：3時間
ニューヨーク：8時間
東京：9時間半

隣国：
スウェーデン、ノルウェー、
エストニア、ロシア



躍動するカルチャー

トレンドをこよなく愛するあなたへ。

- ▶ フィンランドデザインをディープに堪能
- ▶ 様々な建築様式と触れ合う
- ▶ 本物のサンタクロースに会いに行く
- ▶ メタル、インディーズ、ヒップホップ、そしてジャズ
- ▶ クラシックな木造建築が立ち並ぶ街並みをさまよう
- ▶ 今どきの室内音楽



ヘルシンキの町では何十年にもわたってデザインは重要な役割を果たしてきた。デザインによって開かれていくヘルシンキ。この町のデザインは世界のデザインシーンにも影響を与え続けている。

国際インダストリアルデザイン
団体協議会 (ICSID)



「ヘルシンキ大聖堂と元老院広場はヨーロッパで一番のんびりした落ち着く場所。町中のどこからも見える大聖堂の姿は圧巻よ」
リサ、ロシア



「今までフィンランド人にはたくさん会ったけど、
どいつもこいつもおかしいヤツら。でも、そこが
サイコーだよ！」

デイヴィッド、イギリス



「フィンランドは魔性の国。感動、驚き、
誘惑…そのどれもが揃っている」
ホセ、スペイン



「ワシントン州で生まれ育った私。おばあちゃんは薪で温めるサウナを持っていたの。サウナストーブに水をかけて、蒸気をたてて、サウナを温めたのをよく覚えているわ。しかもうちのお父さんはガレージにサウナを作ってしまったくらいにサウナ好き。サウナのおかげで、自分のルーツであるフィンランドが愛おしくてたまらないわ!」

ドナ、アメリカ



「フィンランドにはとりあえず降り立ちさえすれば、どこにいようと関係ないの。何にもない街角にたたずんでるだけでも十分楽しい…それがフィンランドなのよ」

バトリーシア、ハンガリー





フィンランドの誇れるもの

1. ロックとメタル。
2. 訛りのキツイ英語を話す、
かわいい男の子たち
3. 酒飲みの国なところ。ストックマンデパートのカフェに座ってワインやビール（シャンパンもいいわね!）を飲んでリラックスするのが個人的にお気に入り。
4. フィンランド人そのもの。例えばショッピングしていてもそっとしておいてくれるんだけど、ちゃんとしっかり見ていてくれて、安心できるの。

ジェス、アメリカ



「白夜に包まれる夏のヘルシンキ。外で友達とのおしゃべりに興じたり、ひと気のない所で静けさを感じたりして、思いのままに過ごすのが一番の楽しみ方。真夜中に友達とサイクリングした時も、ライトをつける必要がないくらい明るくて驚いたよ」

アルノー、フランス



「ヘルシンキのDANTE'S BARであったBLACK MASS RITUAL FESTIVALⅢに行ってきたんだけど、めちゃくちゃいい思い出になったわ！メタル好きで、しかもフィンランドに行って、ホントよかった！」

サラ、イギリス



「毎年8月、ヘルシンキのスヴィラハティで開催されるFlow Festivalには、フィンランドだけでなく海外からもインディーズのバンドが集まるんだ」

VILLA NAH、エレクトロバンド

A young boy with short brown hair, wearing a dark jacket with a red and blue plaid pattern, is looking towards a Santa Claus figure. The Santa Claus figure has a long white beard, a red hat with a white pom-pom, and is wearing a red and white striped shirt. They are in a workshop-like setting with wooden walls and various tools hanging in the background. The lighting is warm and focused on the boy and the Santa figure.

「フィンランドの北に、一年の
うち70万通もの手紙が届く
おじいちゃんがいるとしたら、
それはきっと正真正銘のサン
タクロース」

サリー、フランス



「私、フィンランドで育ったんだけど、もう20年近く行ってないの。ヘルシンキ駅で買えるミートパイと、海辺のカウッパトリ（マーケット）のことは特に忘れられない。カウッパトリでは新鮮な魚が売ってるんだけど、その匂いですら懐かしいわ。あと、国中にあるきれいな湖も故郷の思い出よ」

アンナ



「5000人もの若者たちが公園に集まって飲んでるのに、誰も騒ぎや問題を起こさない国なんて他に考え付かないよ」

デイヴィッド、アメリカ



「デザイン好きの聖地、ヘルシンキ」

「ヘルシンキの町なかには、そこかしこに優れたデザインが溢れている。キアスマ現代美術館のカフェにある奇抜なハイチェアから、バットマンシリーズ初作のゴッサム・シティーのイメージとなった、花崗岩でできた巨人の男が手にランプを持つ姿が象徴的な、エリエル・サーリネンによるヘルシンキ中央駅のファサードに至るまで、ヘルシンキには不格好な場所など一つとしてないのだ」

ガーディアン紙



B

セクションB / 果てしない静けさにひたる

果てしない 静けさにひたる

自分自身を取り戻すための特効薬。

- ▶ 湖畔のコテージでのんびりと
- ▶ オーロラに圧倒される
- ▶ サウナのルーツを探る
- ▶ ベリー摘みやキノコ狩り
- ▶ アーキペラゴ（群島地方）を
サイクリングで駆け抜ける
- ▶ クロスカントリースキーに挑戦
- ▶ 大自然の中を散策
- ▶ ハイキングやキャンプに出かけよう

A photograph of a man and a young child in a sauna. The man is in the foreground, leaning forward with his head bowed, and a metal bucket is held over his head, pouring water. The child is in the background, looking towards the camera. The scene is dimly lit, with a strong light source from the left creating highlights on the man's back and the child's face. The man is holding a bunch of green leaves in his hands.

「いわゆるフィンランド人って、夏は湖畔の別荘で過ごして、サウナに入って、白樺の枝を束ねたもので体を叩くんだろ？初めて自分自身で体験した時は驚いたよ。フィンランド人ってクレイジーだよな！」

グラント、オーストラリア



「夏の間別荘でのんびり太陽の光を浴びながら飛び交ういろんな種類の蝶を眺め、サウナに何度も入りながら、フィンランドにしかない特別な時間を満喫する…これ以上の最高のバカンスってあるかい？近くの森に行ってイチゴやブルーベリーを摘むのも格別だね」

マイケル、スコットランド



「世界屈指の群島の数誇るフィンランドには、無数の灯台があるんだよ。僕の国、スウェーデンとフィンランドの国境線も、ちょうど国境の上にある灯台を避けて、そこだけぐいっと曲がってるんだ」

ミカエル、スウェーデン



「湖のほとりにあって、電気も通じて
いなくて、野外にトイレがあって、手
作りのサウナが併設されている夏の
別荘、そして自然の覇者、フィンラン
ド人の心こそが、本当のフィンランド
と言えるんじゃないかしら」

エマヌエラ、イタリア



「2006年、友達の結婚式に参加するためフィンランドに行ったわ。私もいつか彼氏と一緒にこんな雪景色のきれいな場所で結婚式を挙げたい!って思ったわ。絶対また行きたい国よ」
タラ、スコットランド



「ただぼんやりと湖と川を眺めていたら、
どんどん心が洗われていくような気分
におちいったの。とてつもなく平和で静か
な土地は、ここフィンランド以外に思いつ
かないわね」

ヴァレンティナ、イタリア





「フィンランドには専用のウォーキングルートやサイクリング
コースが何百キロに渡って作られているから、自転車や徒
歩で旅するのもまた一興だよ」
セイス、スペイン

「世界で一番過ごしやすい国、フィンランド」
ニュースウィーク誌





「冬のフィンランドを旅したのは最高だったわ。
果てしなく広がる雪景色、魔法の力が宿ったような
森、不思議な丘、そしてきらきらと輝く湖がそこらか
しこにあるなんて、まるでおとぎの国みたい」

ラリッサ、ロシア



「パートナーのヒューと一緒に、頭上一面に広がるオーロラの下で松脂のキャンドルに火を灯し、フィンランド産の金で出来た指輪を交換しあったんだ。忘れられない二人だけのセレモニーだよ。いつか僕たちの子供を連れてまたフィンランドを訪れたいよ」

ジャン、オーストラリア



ひたすら自由で ワイルドに

アドレナリン全開で楽しもう。

- ▶ トナカイやハスキーが引くそりに乗って雪原を進む
- ▶ 氷に開けられた穴で泳ぐ
- ▶ 雪合戦
- ▶ ビショビショになりながらラフティング
- ▶ 鮭の遡上を間近で見る
- ▶ 砕氷船に乗る
- ▶ スキーとスノーボード
- ▶ 大自然をマウンテンバイクで駆けめぐる

「『フィンランド中毒』になったヤツらが冬にフィンランドにいけない場合、どうすればいいか知ってるかい？ 熱いお湯を浴びた後（サウナがないから）、庭に飛び出て雪の上でゴロゴロ転がるんだ。これこそまさにフィンランド流！」

マイケル、スコットランド





「フィンランドからは常に世界レベルのスノーボーダーたちが誕生している。しかも、世界中からフリースタイルのチームがフィンランドに集まって合宿してるんだ。フィンランドはそれだけスノーボードをするのに最高の環境なんだろうね」

ペーター、オーストリア



「静けさ、雄大さ、そして何物にも代えがたいこの感情はフィンランドにしかないの」
アナ、セルビア



「泳げて、魚釣りもできて、ボートにも乗れるアーキペラ
ゴ（群島地方）があるなんてイケてるわよね。私、フィン
ランド大好き！」

カルメン、アメリカ



「ウィンタースポーツをしたらフィンランド人の右に出る者はいないよ。フィンランドにはスキージャンプ、スノーボード、アルペンスキーをはじめとして、ありとあらゆるウィンタースポーツの腕利きがいるんだ。だからフィンランドは冬を満喫するのに一番いい場所なんじゃないかな？少なくともこの地球上ではね」

ティム、エストニア

「『おかしなフィンランド人の探究心』っていう本を昨日もらったの。あまりにも面白くて一気に読んじゃった！すごくいい本だからぜひ読んでみて。でも一つだけ解せないところがあったのよね。フィンランド人ってアリの巣の上に座るのが好きなの？気合で我慢するのか、頭がおかしいのか、それとも酔っぱらってないとそんなことできないわよね？」

イエレナ、ロシア





「噛みついてくる小さな虫、新鮮なベリー、色鮮やかなえんどう豆、森のキノコ、そしておいしく焼きあがったシロマス。それにアハヴェナンマーで食べた、フィンランドウォッカで洗っただけの獲れたてのザリガニ。束の間の夏は、最高に盛り上がるパーティーの季節だね」

デイヴィッド・メイ、イギリス

「フィンランド、凍りつくように寒い
けど愛してる! 今すぐあなたの元に
帰りたいわ!」

クラウディア、ホルトガル





